

令和3年第1回定例会（2月議会）
予算及び付託議案審査関係資料（補正関係）

令和3年2月5日
あきた未来創造部

【予算関係】

高等教育支援室	学生寮・学生宿舎管理維持体制持続化支援金 について（新規）	・・・	1
移住・定住促進課	秋田未来創生奨学基金造成事業について	・・・	2
	移住・就業支援事業について	・・・	3
次世代・女性活躍支援課	放課後児童クラブ等新型コロナウイルス感染症 対策関連事業について	・・・	5
	すこやか子育て支援事業について	・・・	6
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う 指定管理者への支援について	・・・	7
地域づくり推進課	若者チャレンジ応援事業について	・・・	8

学生寮・学生宿舎管理維持体制持続化支援金について（新規）

高等教育支援室

1 概要

新型コロナウイルス感染症を予防するために利用を制限した国際教養大学の学生寮等について、管理運営に要する経費の一部を支援する。

2 予算額

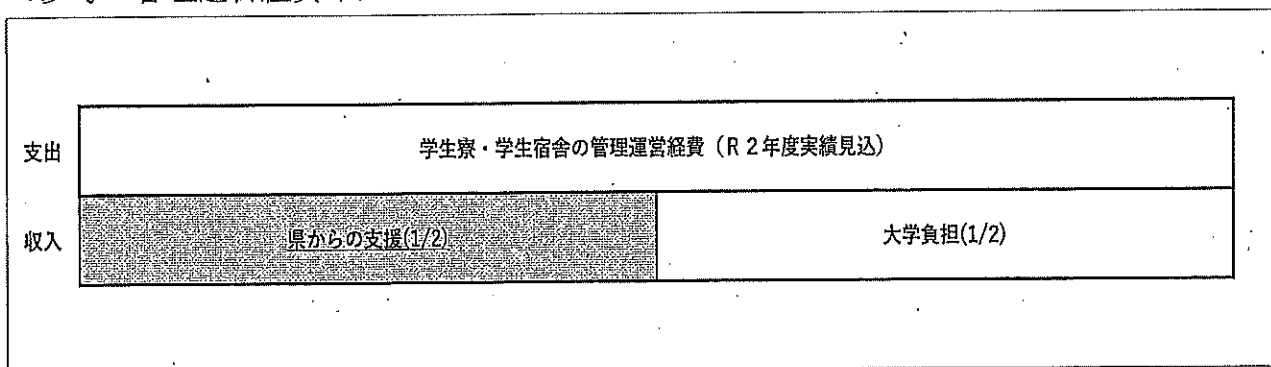
50,572千円（国50,572千円）

国：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

〔負担金補助及び交付金 50,572千円〕

3 補助率 1/2以内

<参考>管理運営経費イメージ



秋田未来創生奨学基金造成事業について

移住・定住促進課

1 事業概要

若者の県内定着の促進と県内産業を担う人材の確保を目的とする県内就職者奨学金返還助成事業の実施に伴い、その原資として、国の支援対象（特別交付税措置）となる「秋田県奨学金返還支援基金」を造成する。

2 予算額

- ・現計予算額 135千円
(財35千円、国100千円)
- ・2月補正額 136,710千円
(⊖136,710千円)
- ・決算見込額 136,845千円
(財35千円、国100千円、⊖136,710千円)

3 2月補正予算の内容

都道府県が行う奨学金返還助成事業に対する国の財政支援の拡大（特別交付税措置の対象を県内企業に就職する大学生等全般に拡大）に伴い、新たに支援対象となった者への助成金原資分を基金として積み立てる。

移住・就業支援事業について

移住・定住促進課

1 事業概要

東京圏からの移住の促進及び県内企業の人材確保を図るため、東京圏在住のAターン希望者と県内企業とのマッチングを強化するとともに、就業した移住者に対し市町村と共同で移住支援金を交付する。

2 予算額

- ・現計予算額 73,001千円
(⊖ 41,344千円、⊖ 31,657千円)
- ・決算見込額 18,148千円
(⊖ 9,273千円、⊖ 8,875千円)
- ・2月補正額 △54,853千円
(⊖△32,071千円、⊖△22,782千円)

3 2月補正予算の内容

(1) 主な補正理由

事業実績による減額補正

- ・マッチング支援事業 △ 453千円
- ・移住支援金交付事業 △54,400千円
 - ①地方創生推進交付金分 △48,000千円
 - ②県単支援分 △ 6,400千円

(2) 補正額の内訳

事業内訳	現計予算 (件、千円)	決算見込額 (件、千円)	2月補正額 (千円)	減額の理由
マッチング支援事業	3,001	2,548	△453	説明会開催費等の実績による
移住支援金交付事業	70,000	15,600	△54,400	
i) 地方創生推進 交付金分	世帯80 60,000	世帯10 7,500 単身10 4,500	△48,000	交付実績による
ii) 県単支援分	世帯10 10,000	世帯3 3,000 単身1 600	△6,400	交付実績による
合 計	73,001	18,148	△54,853	
財 源				
国庫支出金	41,344	9,273	△32,071	
一般財源	31,657	8,875	△22,782	

〔参考〕移住・就業支援事業

○マッチング支援事業

東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）のAターン就職希望者と県内中小企業等とのマッチングを支援する。

- ・移住支援金対象法人の求人掲載を行うマッチングサイトの管理・運営
- ・対象企業等の求人力向上のための研修

○移住支援金交付事業

①地方創生推進交付金対象分

東京23区在住者又は通勤者が本県に移住し、マッチング支援対象法人に就職または創業した場合、移住支援金を支給する市町村に対し助成する。

- ・事業主体 市町村
- ・支給額 100万円/世帯（単身世帯の場合60万円）
- ・負担割合 国1/2、県1/4、市町村1/4

②県単支援分

①の対象者のうち、先進技術（IoT、AI関連）及び人材不足が特に深刻な分野（建設、医療・福祉）の技術職・専門職である場合、支援金を加算して支給する。

- ・事業主体 県
- ・加算額 100万円/世帯（単身世帯の場合60万円）

○令和3年度当初予算案は、国の支給対象要件の拡充や市町村の令和3年度当初予算案の予定件数を踏まえ、61,749千円を計上

（内訳）

・マッチング支援事業	2,999千円
・移住支援金交付事業	58,750千円
①地方創生推進交付金対象分（65件（うちテレワーカー枠5件））	48,750千円
②県単支援分（10件）	10,000千円

※国の支給対象要件の拡充の概要

<対象移住者要件>

- ①従前の業務をテレワークで継続する場合について対象とする。
- ②東京23区内の大学等への通学期間も移住元としての対象期間に加算できる。
- ③プロフェッショナル人材事業等を活用し、就業する場合について対象とする。
- ④移住先の市町村が移住前から関係人口として強いつながりがあると認める場合には、マッチングサイト掲載求人への就業に限らず対象とする。

放課後児童クラブ等新型コロナウイルス感染症 対策関連事業について

次世代・女性活躍支援課

1 事業概要

新型コロナウイルス感染症への対応として、放課後児童クラブ等におけるマスクなどの衛生用品の購入等の経費について助成するとともに、放課後児童クラブにおけるエアコン等の環境整備に要する経費について助成する。

2 予算額

- ・現計予算額 112,400千円 (㊦ 103,900千円 ⊖ 8,500千円)
- ・決算見込額 75,962千円 (㊦ 75,962千円 ⊖ 0千円)
 - ㊦：新型コロナウイルス緊急包括支援交付金 74,050千円
 - 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金 1,912千円
- ・2月補正額 △36,438千円 (㊦ △27,938千円 ⊖ △8,500千円)

3 2月補正予算の内容

- ・補助実績見込 17市町村、272件 (当初：16市町村、268件)
- ・主な補正理由
市町村の決算見込みによる減額

すこやか子育て支援事業について

次世代・女性活躍支援課

1 事業概要

少子化対策の強化を図り、出産や子育てに関する県民の希望をかなえるため、乳幼児の保育料等に対して助成することにより、子育てにかかる経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てる環境を整備する。

2 予算額

- ・現計予算額 776,369千円 (⊖776,369千円)
- ・決算見込額 814,559千円 (⊖814,559千円)
- ・2月補正額 38,190千円 (⊖38,190千円)

3 2月補正予算の内容

(1) 保育料助成事業

- ・2月補正額 33,818千円

(単位：千円)

助成率	対象世帯年収	現計予算額	決算見込額	補正額
1/2助成	～約330万円	75,109	55,561	△19,548
1/4助成	約330万円～約640万円	162,409	180,130	17,721
全額助成 ※1	～約640万円	353,478	383,556	30,078
1/2助成 ※2	約640万円～約930万円	18,380	23,947	5,567
合 計		609,376	643,194	33,818

※1 H28.4.2以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降及びH30.4.2以降に生まれた第2子以降

※2 H30.4.2以降に第3子以降が生まれた世帯の第2子以降

(2) 副食費助成事業

- ・2月補正額 5,443千円

(単位：千円)

助成率	対象世帯年収	現計予算額	決算見込額	補正額
1/2助成	約360万円～約640万円	88,053	92,839	4,786
1/4助成	約640万円～	19,455	27,216	7,761
全額助成 ※1	約360万円～	50,980	43,876	△7,104
合 計		158,488	163,931	5,443

(3) 子育てファミリー支援事業

- ・2月補正額 △1,071千円

(単位：千円)

	現計予算額	決算見込額	補正額
子育てファミリー支援事業費補助金	8,505	7,434	△1,071

<主な補正理由>

助成対象者の増や所得階層の変化に伴う市町村の決算見込みによる補正

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う指定管理者への支援について

次世代・女性活躍支援課

1 事業の目的

新型コロナウイルス感染症により利用料金収入が減少する等の影響が生じているため、指定管理料を増額する。

2 事業内容

(1) 事業名

児童会館費（指定管理者：特定非営利活動法人あきた子どもネット）

(2) 対象経費

キャンセル料還付に要する経費

3 予算額

339千円（㊦339千円）

㊦：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

〔 委託料 339千円 〕

若者チャレンジ応援事業について

地域づくり推進課

1 事業概要

次代を担う若者の夢の実現に向けたチャレンジを支援することによって、若い世代の地域活性化に向けた戦略的な取組を促進し、地域の元気創出につなげるとともに、県内定着・ふるさと回帰を図る。

2 2月補正予算の内容

(1) 予算額

・現計予算額	31,424千円	(⊖)	31,424千円)
・決算見込額	27,364千円	(⊖)	27,364千円)
・2月補正額	△ 4,060千円	(⊖△)	4,060千円)

(2) 補正理由

令和2年度若者チャレンジ応援事業に係る補助金の交付実績見込み等による減額

3 債務負担行為の設定

(1) 債務負担行為限度額	6,973千円 (⊖6,973千円)
[委託料	6,973千円]

(2) 委託業務の概要

- ・採択者への専門家からのアドバイス等による伴走支援
- ・制度周知や相談会の開催
- ・採択者を決定するための選考委員会の運営支援
- ・採択者の取組実践状況の確認や情報発信

(3) 債務負担行為を設定する理由

令和元年度及び令和2年度の若者チャレンジ応援事業の採択者への専門家等による支援を新年度当初から切れ目なく行うため、債務負担行為限度額を設定し、委託契約の手続き等を今年度内に進める。

※ 令和3年度当初予算案では、継続13件、新規5件の補助金及び委託料等で35,075千円 (⊖35,075千円) を計上。

1 令和元年度及び令和2年度若者チャレンジ応援事業採択者一覧

氏名	性別	年齢	居住地	取組テーマ	特例※
鈴木 祥高 氏	男	39	オランダ	ヨーロッパでのダンスツアーの開催	○
内田 清文 氏	男	32	美郷町	ジェラートで秋田を発信	○
後藤 怜一 氏	男	31	秋田市	アクションクラブの設立・運営	—
阿部 円香 氏	女	30	横手市	横手のりんごなどを活用した発泡酒の開発	○
三國 智大 氏	男	28	北秋田市	I o T技術を用いたホームタンク監視システムの開発	○
八嶋 誠 氏	男	31	仙北市	秋田の自然を満喫できるサウナの開業	—
若狭 利伸 氏	男	30	秋田市	eスポーツリハビリプログラムの確立	—
岡住 修兵 氏	男	32	大潟村	新規清酒製造免許を取得し秋田に新しい酒蔵を開設	○
奥村 裕之 氏	男	31	大館市	大館市名産のとんぶり加工食品の開発	—
秋元 衆平 氏	男	36	東京都	地域資源を活かした麹発酵飲料“Koji Drink”の開発	○
豊島 昂生 氏	男	30	由利本荘市	自らブドウを育て自ら醸す、秋田発ワイナリーの創出	○
鈴木 麻由 氏	女	32	湯沢市	あきたこまちを用いた玄米粉パンケーキの開発	○
鈴木 圭一 氏	男	25	由利本荘市	「秋田杉×3D プリンタ」による高付加価値なものづくり	○
石丸 敬将 氏	男	27	五城目町	マルシェ開催を通じた県内クリエイターとの交流促進	—

※特例：事業期間中の補助額を200万円から400万円まで、補助率を3/4から10/10まで引き上げるもの

2 令和3年度若者チャレンジ応援事業実施スケジュール（予定）

区分	内容
3月上旬～中旬	委託事業者の募集
3月下旬	企画提案競技、委託事業者の選定
4月上旬～5月下旬	補助金第1回募集
6月中旬	補助金審査、採択者決定
7月上旬～8月下旬	補助金第2回募集
9月中旬	補助金審査、採択者決定
3月下旬	採択者事業報告会の開催

